



鳥取大学研究成果リポジトリ ご案内と登録のお願い

鳥取大学附属図書館

PDF 版はこちら



目次



◆ オープンアクセスのススメ	2
・研究成果を世界に開く！	
・金のオープンアクセスと緑のオープンアクセス	
◆ 鳥取大学研究成果リポジトリの活用法	3
・リポジトリ登録4つのメリット	
・登録できるコンテンツ	
◆ 鳥取大学研究成果リポジトリに登録する	7
① まずはご連絡ください	
② 図書館職員が公開可能条件(著作権状況)を調査します	
③ 研究成果を附属図書館へご送付ください	
◆ 著作権について	8
・著者本人(登録申請者)のみが著作権を所有する場合	
・共著者がいる場合	
・図版や写真等に他者の著作物が含まれる場合	
・出版社や学会に著作権が移譲されている場合	
◆ 附属図書館が行う著作権ポリシーの調査項目	9
・そもそも公開は可能か？ 公開にあたって条件はないか？	
・公開可能なファイルの規定はあるか？	
・参考)論文執筆から学術雑誌掲載まで	
◆ 鳥取大学オープンアクセス方針について	12
◆ オープンアクセス・機関リポジトリに関する参考資料	13
◆ リポジトリ登録申請例文	14

◆ オープンアクセスのススメ

「オープンアクセス」とは、主に学術論文やその他形式の研究成果について、インターネット上で誰でも無料で閲覧できるようにすること、あるいはそうして公開された状態を指します。

▶▶▶ 研究成果を世界に開く！

研究成果をインターネット上に**無償で全文公開**し、「誰でも障壁なく享受できるようにしよう」というのが**オープンアクセス**の考え方です。オープンアクセスは**研究成果の社会還元**となるだけでなく、公開された論文や研究成果へのアクセス数を増加させ、**被引用率を高める**効果が期待できます。

▶▶▶ 金のオープンアクセスと緑のオープンアクセス

●ゴールド・オープンアクセス(オープンアクセス出版)

出版社に論文投稿料(APC)を支払うことで、出版と同時にオープンアクセスにする方法です。出版手続きと同時に処理ができて簡便ですが、投稿者に高額な費用が発生します。

●グリーン・オープンアクセス(セルフアーカイブ)

大学などの機関が運用するウェブアーカイブ(機関リポジトリ)や個人のウェブサイトなどで公開する方法です。特に大学のリポジトリを使用する場合、著者の費用負担はありませんが、出版とは別にリポジトリ登録の申請などが必要となります。

個人のウェブサイトで公開してもなかなか見てもらえないなあ……

オープンアクセスのための論文投稿料が高すぎる！

論文が公開されてるのを見つけたけど、違法アップロードじゃないか心配……

それ、鳥取大学研究成果リポジトリで解決できます！

論文以外の研究成果も公開できる！

登録申請もメールでサクッと済むね♪

◆ 鳥取大学研究成果リポジトリの活用法

<https://repository.lib.tottori-u.ac.jp/>

鳥取大学研究成果リポジトリは、鳥取大学構成員の研究成果をウェブ上で広く発信するショーウィンドウであり、同時に後世まで保存する書庫でもあります。リポジトリに登録することで研究成果を、世界中の、未来をも含めた読者へ届けることができます。

発信したい！



利用したい！

- ▶ 研究者は無償で、研究成果を公開・発信できます
- ▶ 閲覧者は無償で、研究成果にアクセス・利用できます

▶▶▶ リポジトリ登録 4 つのメリット

- その1 : 様々な検索データベースで検索可能に
- その2 : 被引用率が向上します
- その3 : 研究成果の発表・保存・管理の場になります
- その4 : 科研費実績報告書のオープンアクセス欄に^{チェック} ☒ が可能になります

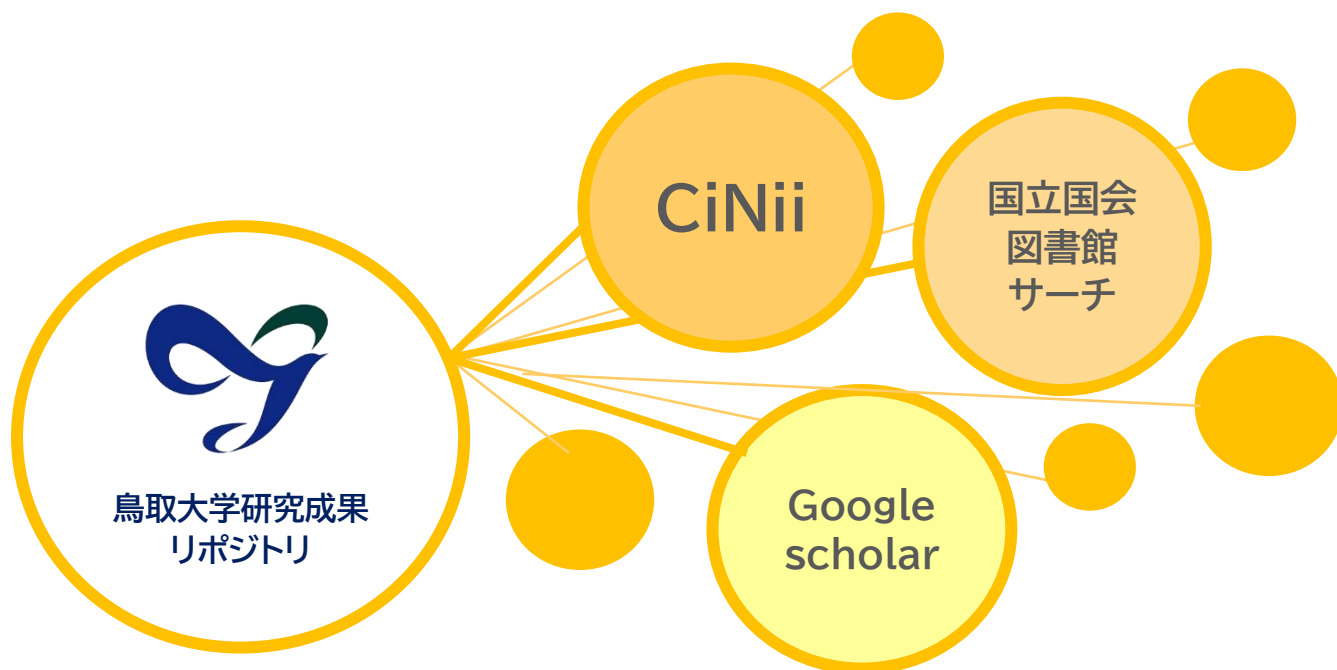
コラム 即時オープンアクセスに対応しよう

2025 年度以降に新規公募される競争的研究費を使用して執筆された査読つき学術論文およびその根拠データについて、学術雑誌への掲載後、即時に機関リポジトリ等へ掲載すること(オープンアクセス化すること)が義務づけられました(統合イノベーション戦略推進会議「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」2024 年2月16日策定)。

たとえば、科研費を使用して研究を行った場合、その論文と研究データは、学術雑誌への掲載後、即時オープンアクセス化が必要となります。

▶ その1 : 様々な検索データベースで検索可能に

鳥取大学研究成果リポジトリは、様々な検索データベースと連携しています。そのため、リポジトリに登録するだけで、CiNii Research や Google scholar など、各種データベースの検索結果にも自動的に反映されるようになります。もちろん、それぞれのデータベースの検索結果から、リポジトリ内の文献掲載ページにアクセスが可能です。



複数のデータベースから検索が可能になることで、研究成果そのものへのアクセスの可能性が広がります。また、学術系に限らず Yahoo! や Google など各種検索エンジンの検索対象になっているので、研究者ではない方にも研究成果を届けることができます。

▶ その2: 被引用率が向上します

研究成果へのアクセス窓口が広がり、かつ読者は無償で閲覧・利用できるため、研究成果の閲覧数が上昇します。これにより、被引用率向上への足掛かりにもなります。

また、実際に自分の研究成果へどれだけアクセスされているのか？ 何件ダウンロードされているのか？ といった統計情報の確認もリポジトリ上で可能です。

内発的发展と地域企業の経営戦略：鳥取県今井書店グループを事例として

<https://repository.lib.tottori-u.ac.jp/records/2001530>

名前 / ファイル	ライセンス	アクション
rs21(1)_1.pdf (1.0 MB)		ダウンロード Information

Item type	紀要論文 / Departmental Bulletin Paper(1)
公開日	2024-10-16
タイトル	

46

views

total ▾

[See details](#)

▶ その3: 研究成果の発表・保存・管理の場になります

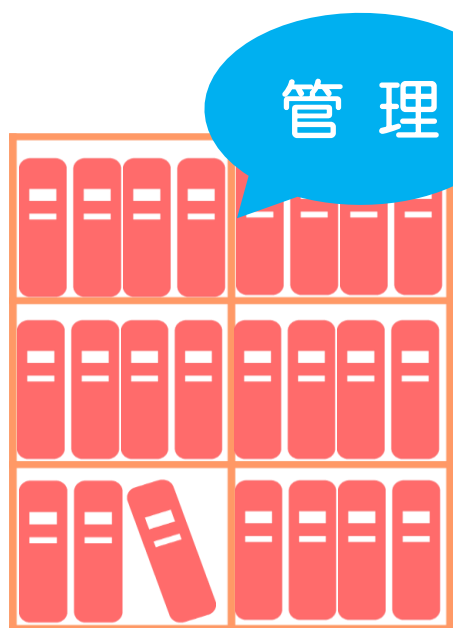


論文に限らず研究成果を広く発表する場としてご利用いただけます。たとえば、**授業用に作成した動画や資料を公開したい**場合などにもぜひご利用ください。

また、鳥取大学研究成果リポジトリは鳥取大学の名前で設置・公開されているため、鳥取大学との産学連携を望む方々とのマッチングの場となる可能性を秘めています。

登録された研究成果ファイルは鳥取大学研究成果リポジトリのサーバ上に保存され、いつでもダウンロードが可能です。

USB などの保存メディアのように耐久年数ごとにデータを移し替えたり、クラウドのようにデータ容量の残量を気にしたりする必要はありません。お手元のデータが紛失・破損してしまった場合も、**リポジトリにバックアップ**があれば安心です。



鳥取大学研究成果リポジトリでは、著者名で絞り込みをすると、同著者の研究成果が一覧で表示されます。そのため、**ご自身の登録コンテンツをリスト化**して確認することが可能です。

また研究室のホームページなどリポジトリの外で研究成果を公開したい場合、本文はリポジトリで公開し、**研究室のホームページにはリポジトリに登録した各論文へのリンクを掲載する**といった使い方も可能です。ホームページのサーバ上にファイルを置く必要がないため、サーバの負担軽減に繋がります。

▶ その4: 科研費実績報告書のオープンアクセス欄に^{チェック}☑が可能に

科研費実績報告書および実施状況報告書には、研究成果論文のオープンアクセス化に関する項目が設置されています。これは**科研費を交付する日本学術振興会が論文のオープンアクセス化を推進している**ため、科研費を含む日本学術振興会が交付する研究資金による論文は、原則としてオープンアクセスとすることが定められています。

また、2025 年度からは「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」(内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 策定)により、科研費に限らず**競争的研究費を使用して執筆された査読つき学術論文およびその根拠データ**は、学術雑誌への掲載後、**即時にオープンアクセス化することが義務づけられています**。

▶▶ 登録できるコンテンツ

学術雑誌論文 Journal Article	学術雑誌に掲載された論文
学位論文 Thesis or Dissertation	博士論文、修士論文など ※要旨のみのもの含む
紀要論文 Departmental Bulletin Paper	紀要類に掲載された論文
その他の論文 Article	学術雑誌以外に掲載した論文や記事など
会議資料 Conference Paper	会議の報告書等に掲載されたもの
発表資料 Presentation	会議や学会で発表されたプレゼンテーション資料、ポスター、口頭発表資料など
図書 Book	図書のなかの章や節など一部分のみの登録も OK
技術報告 Technical Report	テクニカルレポート、ディスカッションペーパー、ワーキングペーパーなど機関発行の報告書
研究報告書 Research Paper	科研費など研究助成金による研究成果の報告書
教材 Learning Material	授業などで用いた資料類。PDF 文書のほか、動画データも OK
データセット Data or Dataset	実験記録等のファクトデータ、およびそれらの集合からなるデータベースなど
ソフトウェア Software	

その他ご登録希望のものがございましたら、ぜひご相談ください！

◆ 鳥取大学研究成果リポジトリに登録する

▶▶▶ ① まずはご連絡ください

登録希望のコンテンツの**書誌情報(論文名・掲載誌・発表年等)**を、下記へお知らせください。



鳥取大学附属図書館 学術情報係
☎ 0857-31-5673 (内線 7060)
✉ ac-gakuju@ml.adm.tottori-u.ac.jp

▶▶▶ ② 図書館職員が公開可能条件(著作権状況)を調査します

いただいた情報を元に著作権等の調査を行います。**公開可能かどうか、公開禁止期間**及び**公開可能な論文のバージョン**(査読前/査読後/出版社版)等についてお調べします。

▶▶▶ ③ 研究成果を附属図書館へご送付ください

公開可能な研究成果ファイル【PDF 等】(2.でお伝えしたもの)を学術情報係へご送付ください。なお、共著者等がいる場合は、登録について全員の許諾を必ず得てください。許諾状況の提出について指定の形式はございませんが、登録申請書*をご用意しております。ご都合に合わせてご利用ください。

*【鳥取大学研究成果リポジトリ】

<https://repository.lib.tottori-u.ac.jp/>

> 左メニュー【ドキュメント】

> 【登録申請書】([pdf/docx](#)) / 【Consent for Inclusion】([pdf/docx](#))

送付方法はメール添付、もしくは USB メモリや CD-ROM 等の記録メディアをお送りいただくなど、データの形で頂戴できれば指定はありません。また記録メディアの送付にあたり、図書館へ持参していただいても、学内便でも構いません。なお、鳥取大学教職員の方は、鳥取大学が提供するファイル転送サービス [Proself](#) を使用することで、5GB までのデータをメールで送信することができます。ご活用ください。

◆ 著作権について

▶▶▶ 著者本人(登録申請者)のみが著作権を所有する場合

著者本人(登録申請者)の許諾のみで登録が可能です。なお、鳥取大学研究成果リポジトリへの登録によって、著作権が図書館へ移譲することはありません。

▶▶▶ 共著者がいる場合

著者本人(登録申請者)および共著者の許諾が必要です。

共著者全員の許諾を必ず得てください。許諾確認用の書類など、特に定めた形式はございません。

*「登録申請書」をご利用の際は、共著者にチェックをしてください。

▶▶▶ 図版や写真等に他者の著作物が含まれる場合

図版・写真等の著作権者の許諾が必要です。

複数の著作物を含む場合、それぞれの著作権者全員の許諾を必ず得てください。許諾確認用の書類など、特に定めた形式はございません。

*「登録申請書」をご利用の際は、その他にチェックを入れ、カッコ内に詳細をご記入ください。

▶▶▶ 出版社や学会に著作権が移譲されている場合

出版された研究成果の場合、ほとんどが著作権は出版社・学会へ移譲されています。そのため、各団体からの許諾が必要です。

出版後のオープンアクセスに関する規定は、出版社・学会によって異なります。**附属図書館にて調査を行い**、公開可能なファイルについてご連絡いたします。

*「登録申請書」をご利用の際は、出版社または学会等のうち該当欄にチェックを入れてください。

◆ 附属図書館が行う著作権ポリシーの調査項目

▶▶▶ そもそも公開は可能か？ 公開にあたって条件はないか？

電子ジャーナルを含む雑誌掲載論文の場合、論文を別途公開するにあたって**エンバゴ(公開禁止期間)**が定められている場合があります。エンバゴは、出版後一定期間において論文の公開を禁じるもので、その期間は様々です。鳥取大学研究成果リポジトリでは、**公開時期を指定することも可能**です。エンバゴの有無に関わらず、公開時期にご希望のある際はご相談ください。

以下は、公開規定が記載されている場所の目安です。参考としてご覧ください。

***最終確認は図書館で行いますので、申込前の確認は必ずしも必要ではありません。**

▶ 掲載場所

***著作権譲渡契約書**(Copyright Transfer Agreement/Copyright Form)

……論文投稿にあたり交わした契約書。

***発行団体のウェブサイト**

……特に以下の見出しがあればご確認ください。

著者/投稿者のページ	authors
投稿規定	submission
セルフアーカイブ	self-archiving
オープンアクセス	open access
著作権	Copyright
ポリシー	Policy

▶ 掲載項目

前記の確認場所のうち、以下の項目箇所に、リポジトリ上での公開範囲の規定(いつから公開が可能か/どのバージョンの原稿・ファイルなら公開が可能か等)が明記されていることが多くあります。

リポジトリ	repository institution repository institutional use
著作者の権利	permitted uses by contributor
個人利用	personal use personal servers(authors and / or employers) author online use
セルフアーカイブ	self-archiving
オープンアクセス	open access
	scholarly sharing retention of rights for scholarly purposes article sharing

▶ 著作権ポリシー検索

雑誌・出版社名で、著作権ポリシーを検索・確認することができます。著作権ポリシーの状況は変更される可能性があり、最新情報とは異なる場合があります。そのため、必ず各雑誌・出版社・学会の規定もご確認ください。

*SCPJ 学協会著作権ポリシーデータベース【国内】

<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/page/133>

*SHERPA/RoMEO 【海外】

<https://v2.sherpa.ac.uk/romeo/>

▶▶ 公開可能なファイルの規定はあるか？

リポジトリでの公開が許可されている場合、雑誌・出版社・学会によって、公開可能な論文のバージョンが異なります(出版社版のみ可能、すべてのバージョンが可能等)。

どのバージョンのものなら公開が可能かご確認のうえ、公開可能なバージョンを図書館にご送付ください。公開が許可されていないバージョンは、リポジトリで公開できません。

出版社で定義されている論文ファイルのバージョンは、大きく3つあります。



①

著者版・査読前原稿

submitted version / preprint / author's original version

※ 雑誌に投稿した最初の原稿。査読やリビジョンを経る前のもの。



②

著者版・査読後原稿・著者最終稿

accepted version / accepted manuscript / post print /
peer-reviewed version

※ 査読・リビジョンを経て、アクセプトされた(出版が決定した)最終確定稿。
出版社による校正・レイアウト調整は経ていない。



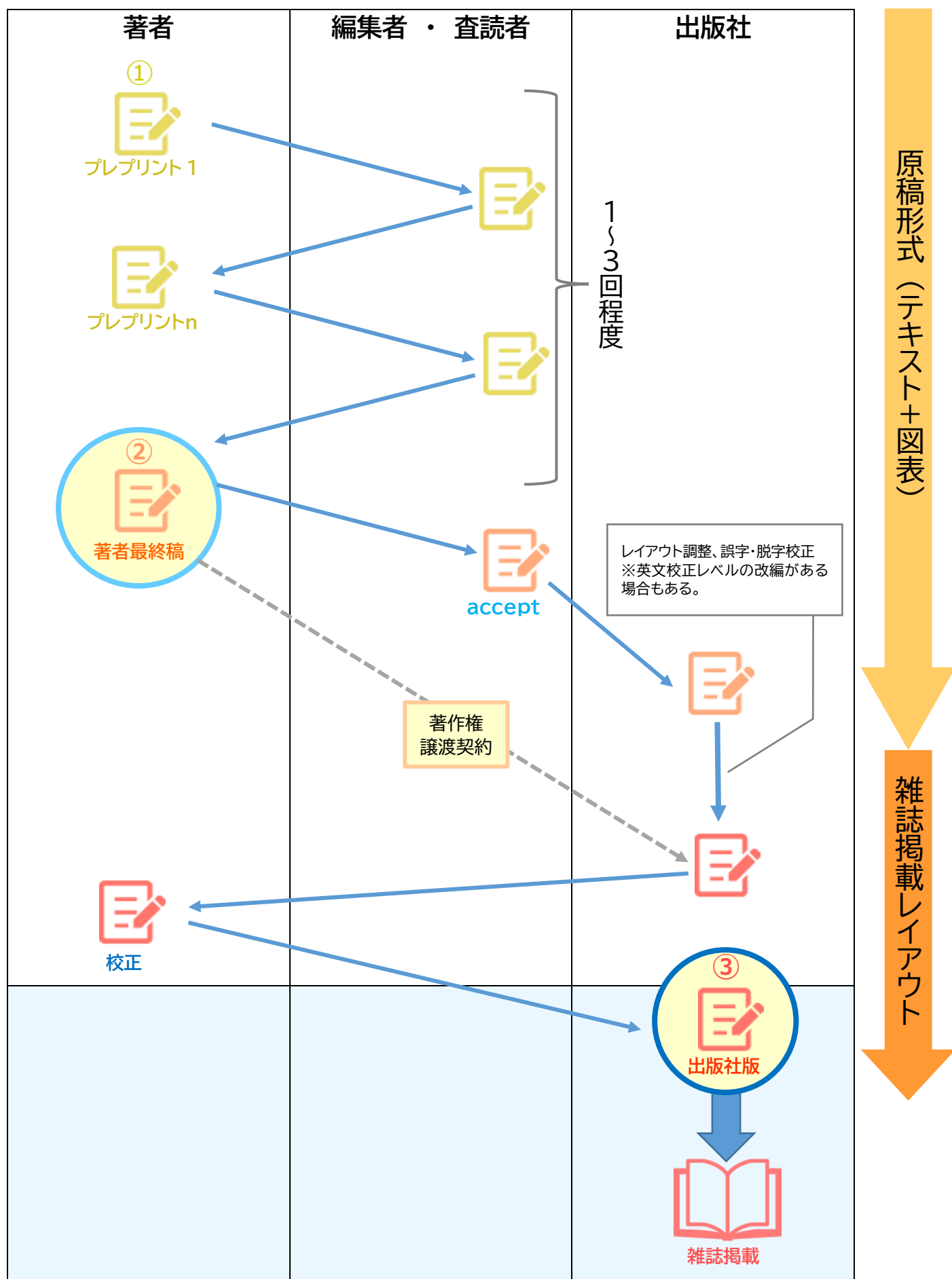
③

出版社版

final published version / final journal version /
published journal article / version of record

※ 校正・レイアウト調整を経たもの。雑誌掲載版と同じ状態のもの。

▶▶▶ 参考)論文執筆から学術雑誌掲載まで¹



¹ 「機関リポジトリと著作権」北海道大学附属図書館作成より抜粋・改編

◆ オープンアクセス・機関リポジトリに関する参考資料

鳥取大学は基本理念「知と実践の融合」に基づき、オープンアクセス方針を裁定しています。また、オープンアクセス方針実施要領および鳥取大学研究成果リポジトリ運用要項など、関係する規則を鳥取大学研究成果リポジトリのドキュメントに掲載しています。あわせてご一読ください。

鳥取大学オープンアクセス方針について

(目的)

1. 鳥取大学(以下「本学」という。)は、鳥取大学の基本理念「知と実践の融合」に基づき、開かれた大学としてその研究成果を学内外に広く公開し、学術研究の発展に寄与するとともに、地域・社会への説明責任を果たすことを目的として、オープンアクセスに関する方針を定める。

(研究成果の公開)

2. 本学は、出版社、学協会、学内部局等が発行した学術雑誌に掲載された本学に在籍する研究者(以下「研究者」という。)の公的研究資金を用いた研究成果(以下「研究成果」という。)を、「鳥取大学研究成果リポジトリ」(以下「リポジトリ」という。)によって公開する。ただし、研究成果論文等の著作権は本学には移転しない。

(研究成果の提供)

3. 研究者は、研究成果について、共著者の同意を得た上でリポジトリによる公開が可能な版をできる限り速やかに本学に無償で提供する。

(適用の例外)

4. 前項の規定に関わらず、著作権等のやむを得ない理由によりリポジトリによる公開が不適切である場合、本学は、その研究成果を公開しない。

(適用の範囲)

5. 本方針施行前に出版された研究成果や、本方針施行前に本方針と相反する契約を締結した研究成果には、本方針は適用されない。

(その他)

6. 本方針に定めるもののほか、オープンアクセスに関する必要な事項は、別に定める。

この方針は、令和2年1月15日から施行する。

◆ オープンアクセス・機関リポジトリに関する参考資料

- 学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針
<https://www8.cao.go.jp/cstp/kenkyudx.html>
<https://www8.cao.go.jp/cstp/stmain/20240814.html>
- 第6期科学技術基本計画(第2章2(2)にて言及)
<https://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/index6.html>
- 日本学術振興会「オープンアクセス | 科学研究費助成事業」
https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01_seido/08_openaccess/index.html
- Directory of Open Access Journals (DOAJ)
<https://doaj.org/>
世界のオープンアクセスジャーナルおよびその掲載論文を収録したデータベース
- Directory of Open Access Repositories (OpenDOAR)
<https://v2.sherpa.ac.uk/opensoar/>
世界のオープンアクセスリポジトリの情報を収録したデータベース
- 学術機関リポジトリデータベース(IRDB)
<https://irdb.nii.ac.jp/>
日本の機関リポジトリで公開されている論文等を収録したデータベース
- SHERPA/RoMEO
<https://openpolicyfinder.jisc.ac.uk/>
世界の学術雑誌出版者の著作権ポリシー情報を収録したデータベース
- SCPJ 学協会著作権ポリシーデータベース【国内】
<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/page/133>
日本の学術雑誌出版者の著作権ポリシー情報を収録したデータベース

◆ リポジトリ登録申請例文

※赤字部分を適宜書き換えてご利用ください

[宛先] ac-gakuju@ml.adm.tottori-u.ac.jp

[件名] 鳥取大学研究成果リポジトリへのコンテンツ登録申請

[本文]

鳥取大学地域学部教員の〇〇〇〇と申します。

以下のコンテンツについて、鳥取大学研究成果リポジトリへの登録を希望します。

【登録申請コンテンツリスト】

〇〇〇〇ほか「◇◇における××について」『□□研究』25 巻 6 号、2024 年
DOI <https://doi.org/10...../.....>

*共著者全員からリポジトリ登録の許可を得ています

〇〇〇〇「◇◇概論授業資料」

*ジャーナルその他への掲載歴はありません

*共著者はありません

以上 2 点について、鳥取大学研究成果リポジトリへの登録を希望いたします。
登録可否や条件については以下宛先へお知らせください。

鳥取大学 地域学部

〇〇〇〇

E-mail: t-manabu@.....

図書館でメールを確認後、登録希望コンテンツの著作権状況(特にジャーナルへの掲載歴がある場合、出版元の公開許諾状況)を確認し、公開可否および公開可能なバージョンの情報を返信いたします。こちらに従って登録用のデータをお送りください。図書館で登録作業を行います。

なお、掲載歴がない(他者に著作権の移譲をしていない)コンテンツの場合は、登録申請時に直接データを送っていただいても差し支えありません。

鳥取大学研究成果リポジトリ

<https://repository.lib.tottori-u.ac.jp/>

鳥取大学附属図書館 学術情報係

☎ 0857-31-5673(内線:7060)

✉ ac-gakuju@ml.adm.tottori-u.ac.jp

